

| 分類 | 項番 | 件名 | 課題内容 | 運用 | 備考 |
|----|----|---------------------------------------|---|--|----|
| 続き | 17 | 医療機関・薬局が資格確認に用いる回線の仕様 | 医療機関・薬局が資格確認に用いる回線の仕様について、オンライン請求の回線に加えて、SSL/TLSの方式も可能とするかどうか。 | 現在、97%の病院と薬局、67%の医科診療所がオンライン請求を利用している。導入・運営コスト縮減の観点から、既存のオンライン請求のインフラを活用することが合理的と考えられるので、運用開始時点では、オンライン請求ネットワークを活用した仕組みとする。 ※ SSL/TLS方式の活用については、追加のセキュリティ対策や管理コスト負担の対応等も考慮して今後の検討とする。 | |
| | 18 | レセプトコンピュータ、病院情報システム等への資格情報を登録する仕組みの整理 | 医療機関・薬局でのシステムの形態・業務方法に応じて、レセプトコンピュータ、病院情報システム等への資格情報の登録を可能とする仕組みを整理する。 | 医療機関・薬局のシステムの形態・業務方法に応じて、オンライン資格確認等に係る顔認証付きカードリーダー等の導入、レセプトコンピュータ等の既存システムの改修、ネットワーク環境の整備、セキュリティ対策を講じていただく。 | |
| | 19 | 被保険者記号の外字使用への対応 | 市町村国保等の一部の制度において、被保険者記号に外字使用しているところがあるため、中間サーバーで「●」として管理され、医療機関等による資格確認において「●」と表示されるなどの問題が想定されることから、医療機関窓口において資格確認に時間がかからないよう、対応策を整理する。 | 一部の保険者において被保険者記号で外字の使用、中点、ハイフンの使用の判別が困難であることから、オンライン資格確認等システム側で漢字や特殊文字を判別し、突合する仕組みを設ける。 ※ 被保険者記号に外字がない保険者は、氏名と住所に外字があっても、保険者番号、カナ氏名、生年月日には外字がない（●が表示されない）ことから、個人の特定に支障はないと想定。 | |